

平成29年度 事業計画書

基本方針

近年、出生率の低下に伴う少子化の進展は、社会保障や経済のあり方などに影響を与えるばかりではなく、子ども同士の交流機会の減少や地域のつながりの希薄化、家族形態の多様化など、子どもやその親を取り巻く環境を大きく変化させています。

このため、安心して子育てができ、子どもたちが健やかに育つための環境づくりは、家庭にとどまらず地域社会全体で考えることが求められています。

ぐんまこどもの国児童会館では、「児童に遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにする」児童厚生施設の目的のもと、「子どもファースト！」を基本理念に、県内唯一の県立大型児童館として、いつでも誰もが平等・公平に楽しめる場を提供します。

また、年間行事計画に基づきながらも、柔軟に子育て支援を行う地域組織活動団体との連携や情報発信を一層強化し、児童福祉の総合拠点として、次代を担う子どもたちが抱く夢の実現に向け支援していきます。

数値目標

	平成29年度	平成28年度	
		目標	見込み
入館者数	370,000人	370,000人	315,000人
プラネタリウム利用者数	52,000人	53,000人	42,000人
移動児童館利用者数	4,100人	5,300人	4,100人
ボランティア登録数	100人	100人	72人
団体利用件数	580団体	550団体	460団体

1 育成事業

児童の健全育成にあたり、ぐんまこどもの国児童会館の施設機能が十分活かされ、また、利用者のニーズに応えられるよう、子どもたちが豊かな情操や創造力、知力などの育みにつながる事業を展開し、いつでも安心して楽しく利用できるよう取り組みます。

(1) 企画事業 5,545千円

学校等の長期休暇や季節等にあわせて、子どもから大人まで幅広い年齢層の方が楽しめる参加型大型事業を全館体制で実施します。特に季節行事においては、公園と相互協力し「こどもの国」としての一体感のある事業を展開します。

(主な事業)

ゴールデンウィーク企画	8日間	家族イベントと児童福祉週間の啓発
夏の特別企画	11日間	科学捜査をテーマにした大型企画
こどもの国のお正月	5日間	正月にちなんだ伝承遊びや伝統行事の体験
春のこどもの国フェスティバル	15日間	体を動かしてチャレンジできる遊びの提供
多世代交流事業	3日間	敬老の日にあわせ、世代間交流のできる事業
季節行事	3回	七夕やハロウィン、クリスマスに公園と共催でイベント実施

(2) サイエンスワンダーランド 3,579千円

科学展示室は、幼稚園や保育所、小学校からの団体利用が見られるほか、幅広い子どもたちが利用することから、安全第一に努めながら、展示品の計画的な更新を図りつつ、幅広い子どもたちに楽しめるよう取り組みます。

また、講座等においては、類似の事業の統合とともに、内容の充実を図り、身近な現象から未来科学まで幅広い視点から子どもたちの夢や興味を支援していきます。

(主な事業)

常設展示	通年	常設展示の他、関係機関からの巡回展示を設置
プチサイエンスショー	5回	身近な科学現象を題材にした実験ショー
科学工作	3回	高校生による科学工作実験やロボット教室等
科学講座	3回	専門講師や企業による体験型講座
がんばれ群馬のものづくり	1回	おおた夢工場の協力のもと幻の旅客機富嶽展示

(3) スペースシアター 10,463千円

プラネタリウム機能を活用し、学年に合わせた団体投影及び幅広い年齢層が楽しみや癒しを感じられる一般投影、企画投影を行います。

また、関係機関と連携して、時期に応じて見られる天文現象の観望を行います。

(主な事業)

プラネタリウム一般投影	通年	幼児・こども・一般番組、夏休み特別番組
プラネタリウム団体投影	通年	星空の生解説と学年にあわせた学習番組
おやこプラネタリウム	2回	乳幼児の親子向けに星に親しむ企画投影
熟睡プラネタリウム	1回	主に大人を対象とした癒やしのひととき
こどもの国スターフレンド	5回	プラネタリウムの解説と実際の星空の観察

(4) クラフトルーム 1,017千円

子ども一人でも親子でも、いつでも楽しめる異なる工作を定期的に提供し、創造意欲を高めるとともに、乳幼児の親子向け等の事業にも取り組みます。

なお、プログラム入替のための閉室日を撤廃して実施します。

(主な事業)

自由利用プログラム	13プログラム	身近な素材での工作。約3週間毎に入れ替え
季節プログラム	7プログラム	季節行事にあわせた工作プログラム
おたんじょうがた	12回	乳幼児の親子向け、成長記録に役立つ作品工作
チャレンジクラフト	6回	制作過程の多いプログラムを教室形式で実施

(5) プレイルーム 1,642千円

定期的に運動遊具をはじめとする大型遊具や乳幼児玩具を配置し、親子のふれあいの場を提供するほか、一部施設の用途を「わいわい広場」と変更し、新たに小学生の居場所づくりとして、児童向きの遊具を配置します。

また、家族や子育てボランティア、様々な世代の人々が集える場を提供し、子育て支援事業の充実を図ります。

(主な事業)

①わいわい広場	通年	子どもの居場所や親子ふれあいの場として開放
①中高生のふれあい事業	1回	中高生が乳幼児との遊びを学び、触れ合う場
パパとenjoy!	2回	体験活動により子どもや家族と一緒に楽しむ
子育てサロンこどもの国	9回	子育てグループと共に親子遊びや交流の場を提供

(6) ビデオライブラリー 495千円

児童向けビデオやDVDソフトの視聴を通して、豊かな感性を育みます。

また、「見る」だけにとどまらず、映像を「作る」「遊ぶ」に発展させた映像体験の場を提供します。

(主な事業)

こども映画会	1回	16mm映画やDVDを上映
わくわく映像教室	1回	粘土でコマ撮りアニメを制作

(7) パソコンルーム 550千円

パソコンに慣れ親しむため、年齢や興味に応じて選択できる自由利用プログラムを提供します。

また、パソコンやソフトの機能を活かした事業を実施します。

(主な事業)

パソコン工房	12回	お絵かきやぬり絵、ペーパークラフトを楽しむ
①育児ママのパソコン育緑	1回	子どもの成長記録絵本等の制作

(8) こども図書室 335千円

平日は乳幼児とその保護者が、週末や学校等の長期休みには小学生から大人まで利用していることから、絵本や児童書、育児書など様々な本を配架するとともに、季節の絵本やおすすめ図書の紹介コーナー等を設け、よりよい図書環境作りを提供します。

また、ボランティア等による読み聞かせ等を実施し、本からふくらむ世界を伝えます。

(主な事業)

団体利用	通年	絵本の読み聞かせと内容に因んだ造形ワークショップ
おはなしのへや	9回	季節や年齢にあわせた絵本や紙芝居の読み聞かせ
絵本でEnglish!	1回	英語絵本の読み聞かせと英語遊び
ブックトーク!	1回	テーマに沿った書籍の紹介

(9) 体力増進事業 366千円

周辺の自然環境を利用した事業や、地域で活躍するスポーツ選手を招聘した事業、中学校で科目化されたダンス教室のイベントを行い、子どもたちの体力の底上げを図ります。

(主な事業)

チャレンジスポーツ	通年	多目的ホールの空き室利用で運動遊具を配置
ダンス教室	1コース	ダンスの基礎を体得し、発表する
ぶらり親子でさんぽ	1回	親子で金山の自然散策
世界にはおぼたけ!未来のこども達	2回	選手とふれあい、スポーツへの楽しみを喚起

(10) 食育体験事業 107千円

地元企業や関係機関と連携して、親子で楽しみながら正しい食知識を高め、子どもの食生活や生活リズムの向上につながる事業を実施します。

(主な事業)

毎月19日家族いただきますの日	3回	食育イベントや外部講師による食育講座
親子でおいしい工場見学	1回	地元工場への見学や製作体験
稲作体験	1コース	公園と共催で、田植えから収穫までを体験
親子で挑戦!食育クイズ	1回	親子で取り組み、食育への興味を喚起

(11) ふれあい仲間づくり事業 203千円

三間(時間・空間・仲間)のある遊び環境を整え、特に金山総合公園を使った外遊びの機会と場づくりを定期的に行い、子どもたちの自主性と社会性を育みます。また、「家庭の日」にあわせて家族で楽しめる体験イベントを開催します。

(主な事業)

新「家庭の日」普及活動	4回	家族で楽しめる体験やふれあいイベントの開催
カプラであそぼう	随時	多目的ホールの空き室利用の他、雨天時に開放
とことん外であそび隊	4回	外遊びの場を提供

2 推進事業

安心して子育てができ、子どもたちが健やかに育つため、地域社会全体で取り組むことが重要であることから、県内児童館の運営支援や環境づくりに取り組むため、子育て支援団体と連携協力を図りながら、県内唯一の大型児童館として求められる役割を果たします。

(1) 児童館活動促進 1,894千円

地域児童館と相互連携し、児童館活動の活性化、子育て環境や児童健全育成に対する地域力を高めます。

(主な事業)

群馬県児童館連絡協議会	通年	児童厚生員等研修会の開催、資格認定事務
児童館訪問	随時	児童館職員との意見交換
群馬県内児童館フェスティバル	1回	県内児童館が一堂に会し、遊びや活動成果を発表
オレンジリボンキャンペーン	1回	児童虐待防止推進月間にあわせ普及啓発を図る
児童館紹介・パネル展	通年	県内児童館の紹介や月間おたよりを掲示

(2) ネットワークづくり事業 907千円

県内の子育て支援関係団体等と連携し、プレーバス巡回（移動児童館）を通して地域の子育ちと子育ての支援を行います。

(主な事業)

プレーバス巡回(移動児童館)	通年	県内各地に巡回し、遊びのプログラムを提供
児童劇団等の登録・派遣	通年	県内の優良劇団等の登録
	6回	登録劇団等の派遣

(3) 組織化事業 500千円

施設ボランティアの協力を得て、事業のより一層の充実を図るほか、地域の子育て支援関係団体との連携を深め、子育て支援の課題を共有し組織力の充実を図ります。

また、ジュニアスタッフを養成し、ボランティア体験を通じた社会参加活動を促進します。

(主な事業)

ボランティア活動促進	通年	活動成果の場を提供し、自主企画を促進
⑧ボランティアまつり	1回	登録ボランティア、ジュニアスタッフ合同で活動を発表
ジュニアスタッフ養成	通年	小中高生が、大型事業への参加や自主事業を開催
ぐんま地域活動連絡協議会連携事業	通年	母親クラブフェスティバルや親子のつどい等連携して実施

(4) 調査研究事業 157千円

少子化をはじめとする家族構成の変化や地域のつながりの希薄化により子どもたちの遊び環境が悪化していると言われる昨今で、来館する子どもたちの遊びの実態を把握するための調査を行います。

また、配慮や支援を必要とする子どもたちの個性やニーズにあった遊びのプログラムの開発を行います。

(主な事業)

こどものあそび場実態調査	2回	普段している遊びの聞き取り調査で実態把握
新最寄り駅からのてくてくマップ	1回	三枚橋駅からの徒歩マップの作成
障がい児応援プログラム	通年	ニーズに合った支援方法やあそびプログラムの開発
あそびの出前「にこっとGO!」	2回	障がい児通所支援事業所に訪問し遊びを提供

(5) 児童文化推進事業 1,457千円

子ども文化の推進と情操を育む機会や身近な異文化に触れる機会を提供します。

(主な事業)

ぐんまこどもの夢大賞	1回	群馬県と共催で絵画と童話作品を募集
ぐんまこどもの夢大賞入選作品展	2回	児童会館と群馬県庁に入選作品を展示
異文化交流事業	通年	遊びを通して、外国文化に触れる

(6) 子育て相談事業 288千円

親や子ども一人ひとりの悩みに適切に対応するため、専門相談員の協力を得て相談を受け、児童の健全育成に努めます。

(主な事業)

こども相談室	通年	職員による来館、電話の一次相談窓口
子育て相談室	12回	臨床心理士や保健師による相談

(7) 広報啓発事業 1,129千円

児童会館の情報を様々な媒体を活用し発信します。公園と協力のうえ「ぐんまこどもの国」として一体でPRを行います。

(主な事業)

ホームページの運営	通年	イベント情報や県内児童館情報の掲載
「にこっと通信」発行	4回	機関紙として子育て情報等を掲載
誘客キャンペーン	2回	あそびうたや着ぐるみを活用し、キャンペーン

(8) その他の事業

ア 貸出事業

群馬県条例に基づき、多目的ホール及び研修室の貸出承認と使用料の徴収業務を行います。

イ 指定管理業務以外の受託事業

児童の健全育成につながる事業は、積極的に応募します。

3 管理運営

(1) 法令等遵守

各種法令を遵守するとともに、事業団の各種規程等に則り、県民に対して説明責任を果たします。

また、業務遂行上改正を要する内部要領等は適宜見直しを行います。

(2) 施設設備維持管理

来館者が安心して気持ちよく利用できるよう、設備の保守管理はもとより日々の施設内清掃等により安全性を最優先した管理に努めます。

また、修繕等が生じた際は、利用者への負担を最小限とすべく、迅速な対応に努めるほか、老朽化した設備等は計画的に更新を図ります。

(3) 人材育成

「福祉は人なり」と言われているように、職員の資質向上にあたっては、職務に必要な知識のみならず事業団職員として必要な識見の涵養のため、できる限り業務運営に支障が生じないよう、職場内研修の実施をはじめ外部団体等が行う研修会へ参加するとともに研修内容の共有に努めます。